

議会報告



第418号

日本共産党逗子市議会議員団

発行2008年8月 「逗子民報」議会報告版

市役所Tel.873-1111 (控室内線416) 事務所 沼間2-15-4 Tel.871-1321

●1面 20年度予算審議 2面 後期高齢者、病院、池子、開発



市議会議員

岩室 年治



市議会議員

橋爪 明子

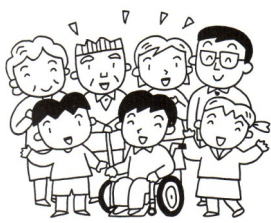
第1回定例会

第1回定例会は、2月27日から3月25日までの28日間開かれ、施政方針及び予算提案説明に対し、日本共産党含む11人が代表質問を行ないました。議案は20年度予算一般会計他5特別会計予算、子育て支援センター条例改正など23議案を可決。意見書3件と決議1件も可決しました。

20年度当初予算を賛成多数で可決

日本共産党 後期高齢者医療制度関連予算に反対

日本共産党は、20年度予算は一般会計と国民健康保険、老人保健医療、後期高齢者医療の3特別会計に反対し、介護保険と下水道の2特別会計に賛成しました。代表質問と委員会審査など審議を通じていくつかの問題点を指摘し、市政運営にあたることを求めました。



池子問題 ①病院予定地の目的変更は慎重に。②追加建設問題の具体的な行動を。③米兵犯罪の対策、親善交流中止も含めた検討を。

ごみ問題 ①鎌倉市のごみ受け入れは、地元の環境負荷を含めた検討が必要。②検討報告書ではごみ有料化が前提であり、十分な検証と再考すべき。③市民と直接係わる収集業務だけは直営堅持。

病院問題 ①委託料1億3千万円は名目であり、事実上の赤字補填。②病院誘致促進条例は病院経営への税金投入を禁止したもの。③誘致と救急は切り離し、確認書5条を白紙に戻す。④地元自治会と医師会の理解と合意を得る努力をする。

教育 特色ある学校づくり 毎年教育費が削減や抑制される中、特色ある学校づくり事業の提案がされました。しかし、内容の説明がなく、不明瞭な提案から反対。関係機関と十分に協議することを指摘し、補正予算による対応を求めました。

教育指導員派遣事業 県と市採用の非常勤・臨時教員が増え、教育環境の悪化が懸念されている中で、臨時教員を指導できる教員配置が提案され賛成しました。本来は正規教員を配置すべきであり、当面の措置でも本来は県が財政負担と責任を果たすべきものです。

逗子小教室不足、学区希望制限界 少子化による児童減少が続いてきましたが、新築した逗子小の普通教室が不足。特別教室を転用する事態です。教育委は当面の措置としています。学区希望制も人数枠もあり、地域の関係も薄れ、教室不足では困ります。

市長公約

中学校給食の実現求める署名が5千筆超え提出される

平井市長が公約で「中学校給食」を掲げて当選後、「市立中学校給食実現を目指す会」が発足。昨年10月から取り組んだ署名が、多くの市民や団体からの協力で5116筆が集まり、2月初旬に市長と教育長(写真)に提出されました。議会も早期実施を求める決議を可決。教育委員会も検討を始めています。しかし、市長は公共施設見直しと学校施設の長期見直しの中で検討しています。これでは任期中に実現はできません。共産党は、市長が予算権限を持つことから早期の具体化を求めました。市長は「学校整備計画は難しく、現段階で明確に示すことができない。市民要望が強いことを踏まえ、できる限り早い時期に市民と議会に可能性を示す責任がある」という認識だけを答弁しました。



福祉 保育園入所奨励金を削減

昨年は幼稚園奨励金が増額され喜ばれていますが、一方で今年は保育園の入所児に対する補助金が減らされました。共産党は子育て支援からも復活を求めました。

妊婦健診の拡充を求める決議可決

昨年、国は14回の内公費助成は5回程度が望ましいと通知。陳情も提出され継続審査でしたが了承され、市長に対し決議を可決。今年2回から5回に増えました。

子育て支援 子ども部を設置してください

逗子市学童保育連絡協議会 逗子市子ども会連絡協議会
児童館設置を願う市民の会 逗子市育児サークル連絡協議会

次世代育成支援を推進するべく部を創設し、人的配置など所管の充実を求める陳情が提出され、共産党は予算確保と権限から部の昇格を求め採択(賛成)を主張。しかし継続審査になりました。市長が提案した機構には部はなく、再提案に期待が広がっています。

学童保育の児童増で、逗子小学区は施設狭隘化、改善求める

入所希望が年々増加し70人弱です。国基準で70人以上は大規模学童であり、適正な施設と体制確保を求め、市は他施設の一部開放で対応と答弁。

学童保育の県補助金改善を求める陳情了承、意見書可決

市学童保育連絡協議会の提出した陳情(県補助金を国基準を上回ること、年度途中の児童増にも対応できるように改善すること)を了承し、本会議も可決。



はぐくみかん(横須賀市・こども育成部)子育て支援拠点

横須賀市は機構改革で子育て支援を統合。「はぐくみかん」(庁舎4号館)を建設、4月から開設。①子育て総合窓口を設置(保育園や児童手当など手続) ②療育センター(肢体不自由児と知的障害児の通園施設)と診療所、③児童相談所などの業務を集約(視察実施)



池子問題

池子接收地内の病院用地としての活用を断念 緑地と体験学習施設等の公園整備へ方針変更

病院用地は緑に囲まれ小川が流れる場所です。病院誘致先を沼間3丁目で交渉してきた経過から、市長は病院用地の活用をやめ、緑地と一体化した公園整備、自然体験学習施設に公民館にかわる生涯学習施設機能を加えた活用方針を新たに決定。米軍住宅受入れ条件(33項目・三者合意)の変更ではないと説明しています。

病院誘致 地元自治会と医師会の理解得られず、市長に再考を求める

アーデンヒル自治会長、逗葉医師会長、逗葉地域医療センター理事長の参考人質疑があり、医師会から①脳外科がなく脳卒中対応が困難。②高リスク分娩対応が難しい。③麻酔医の体制が弱いなど指摘、財政負担も大きく膨らみ、市長に再考を求めました。

ごみ処理広域化 鎌倉市との生ごみ共同処理施設は断念、覚書も白紙に

鎌倉市の候補地が名越から関谷と変更され、市が検討した結果①メタン化施設の実績がない。②運搬経費を加えると財政的メリットがないとして「覚書」を解消、白紙にしました。市は施設に頼らないで減量化をめざします。その後、鎌倉市は関谷の買取を断念し候補地で無くなりました。但し焼却施設は、現在も鎌倉市と検討協議が継続されています。

まちづくり市民委員会 目的は総合計画の推進。構成は11人以内、会議は年2回です。市の審議会・委員会は64組織もあり、部所管から委員1名を選出しますが、この委員1名が部内の個別計画を把握しきれません。さらに十分な議論の場も保障されず、形だけの組織です。

後期高齢者医療制度 参院廃止法案可決 うば捨て制度は廃止しかない。

4月スタート以降、国民の怒りが列島を渦巻いています。共産党は国政では野党4党で廃止法案を提出。逗子も関連議案すべてに反対を貫き、また、広域連合でも鎌倉市から唯一人選出され、反対で頑張っています。512の議会が中止、撤回、見直し意見書を提出。

75歳以上切捨て差別医療の後期高齢者医療制度を廃止させよう！

市議会 米兵による殺人事件に怒りの抗議！

横須賀市内では米兵の凶悪犯罪が連続発生。06年女性会社員への強盗殺人事件(無期懲役)、07年少女と女性への殺人未遂事件(懲役8年)、08年タクシー運転手への強盗殺人事件など許されない犯罪です。平和と命を守るどころか命奪う存在です。議会は抗議しました。

主な議案と意見書	○賛成 ●反対		共産党	民主党	公明党	政風会	次世代	市政ク	市民自	無党派
	(可) = 可決									
平成20年度一般会計予算	(可)	●	2	4	2	3	2	2	2	4
後期高齢者医療に関する条例制定	(可)	●	●	○	○	○	○	○	○	○
自転車放置防止条例改正・移動費値上げ	(可)	●	●	○	○	○	○	○	○	○
米兵犯罪に抗議し地位協定見直し意見書	(可)	○	○	○	退席	○	○	○	○	○
生活保護制度に関する意見書	(可)	○	○	○	退席	○	○	○	○	○
学童保育への県補助の改善を求める意見書(可)	(可)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
妊婦健診公費負担の拡充求める決議	(可)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

三浦半島中央道路

議会が反対から促進にかわる、市長は推進 住民合意ないと主張し、日本共産党は反対

葉山住民が提出した三浦半島中央道路促進陳情3件と他1件が了承されました。都市計画決定当時から交通渋滞と環境悪化の恐れから地元の上桜山連絡協議会と議会は反対してきました。

共産党は長柄～桜山区間が開通した場合、複雑な交差点であり、通過交通を大量に市内に呼び込むことから反対しました。



開発問題 桜山5丁目開発計画、審査委員会は認めず、再検討を求める



開発途中で投げ出された計画について、環境影響評価審査委員会は「復元計画は抜本的に欠陥があり、緑地が生成すると到底いえない」として認めず、市も計画の見直しを求めています。地権者は破産手続中でありながら緑地復元計画の変更届を提出しましたが、手続はストップ中です。

小坪2丁目急斜面の建築、安心安全の確保を 議会は急斜面の建築行為に対し、安心安全確保を求める陳情を了承。事業者は市手続では「個建て」、住民には「数戸開発」と発言。共産党は条例逃れと指摘し、事業者に対する適切な指導を求めました。

みどい 緑地保全の樹容維持奨励事業の休止？ 市街化調整区域の緑地に対する助成を今年休止。財政事情を理由に突然の取りやめです。市長は公約で「50年先も豊かな緑に抱かれたまち」を掲げ、高校生の手紙「あなた(市長)の緑を守りたい気持ちが一番うれしい」の声に逆行です。共産党は、休止に反対し予算復活を求めました。

グリーンカーテン1教室分に55万円

壁面緑化の新規事業。1つのクラスに係る経費は55万円。一方で学校のエアコンは棚上げし、今年は庁舎の空調整備が予算化。試行であれ費用対効果からも疑問です。

逗子駅みずほ銀行前の歩道移設 浜銀前の信号歩車分離化へ一歩


前市長が浜銀前のスクランブル化をめざし、その前提となるみずほ銀行前の歩道移設と一般車バース改良を提案。但し議会在反対(平井市長も市議当時反対)、党は賛成。



しばらく計画は頓挫していました。しかし、市民と警察からの再三にわたる要望もあり、歩道移設が決定。

公園プール検討チーム報告書 小坪飯島プール再開の方向です

小坪市営プールが休止中です。地元からの利用再開を求める陳情が了承されていました。ところが市の検討結果は国庫補助が得られないことから、市長の判断が先送りされ、再開又は再整備の見通しはたっていません。



QRコードを使って携帯電話で 議員団のブログをご覧ください。

<http://www.jcp-zushi.jp/>

